

日新電機グループ社会貢献基金奨学金「2025年度 奨学生研究報告会」を開催 ～未来の産業を支える大学院生・高等専門学校生を支援～

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金（所在地：京都市右京区、理事長：松下芳弘、以下 当基金）は、「日新電機グループ社会貢献基金奨学金」の第9・10期生の大学院生24人と、高等専門学校専攻科1年生2人の計26人を招き、2月4日、日新電機本社（京都市右京区）隣接の日新アカデミー研修センターで「2025年度 奨学生研究報告会」を開催しました。なお、今年度から奨学金の給付対象を拡大し、高等専門学校専攻科生を新たに加えています。本会は、同じ分野の研究を行う学生同士、また学生と社会人が交流する場として2017年より実施しており、今回で10回目を迎えました。

当日は、当基金から理事長の松下をはじめ、評議員、理事、選考委員、また日新電機グループからは技術系社員などが出席しました。全国から集まった奨学生は各自の研究内容を紹介しながら、研究テーマと未来の社会についてディスカッションを行いました。前回から導入したグループワークにより奨学生同士の交流はさらに活発となり、今回から高等専門学校専攻科生も加わったことで視点が一段と広がり、より深い学びと豊かな交流へとつながりました。



グループディスカッションの様子

本奨学金制度は、大学院修士課程および高等専門学校専攻科の2年間を対象にした完全給付型奨学金制度です。近年、日新電機の事業と関わりの深い電気エネルギーや高電圧技術といった重電系の学科を持つ大学や、その学科を専攻する学生は減少傾向にあります。当基金は、社会インフラを支える重要な技術を絶やさないために、これらの研究を志す学生を一人でも多く支援することを目的として本制度を2016年より運営しています。本会のほかにも、奨学生相互の交流会や日新電機グループの職場見学などの機会も設けています。

当基金は、これからも高度な技術を身に付けようと向上心に燃える学生への支援を通じて、未来の産業を支える人材の育成に貢献していきます。

「日新電機グループ社会貢献基金奨学金」制度

- 趣 旨：電気系、プラズマ応用系、情報系の研究を行う大学院生および高等専門学校専攻科生で、経済的困難があり学業優秀な者に対して奨学援助を行うことで、電力エネルギーおよび高電圧技術分野、ビーム・真空応用分野、情報技術分野等の教育・学術研究の発展に寄与する
- 特 徴：(1)完全給付型であり、返還の義務はない
(2)卒業後の就職は、本人の自由とする
- 支給内容：大学院生 月額4万円、高等専門学校専攻科生 月額3万円 原則2年間
- 給付人数：当基金が選考する全国の学校から各1人、合計年間約30人

以上

[本件に関するお問い合わせ]

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金 事務局 E-mail : sczaidan@nissin.co.jp